
片思い

桂樹 槐

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

片思い

【Nコード】

N2265D

【作者名】

桂樹 槐

【あらすじ】

詩、だったりします。突発的に浮かんできた少女の独り語りの詩。共感してくだされば、幸いです。

もしもあの胸の高鳴りが

好きという感情ではないのだとしたら

私のあの胸の高鳴りはいつたいなんだというのでしょうか

もしもあの好きだという気持ちが

恋ではなかったのだとしたら

私は恋という感情を知らなかったことになります

もしもこの恋をしている気持ちが

愛ではないのだとしたら

私は愛という感情を知らないことになります

もしこの胸の中に渦巻く感情が

憎しみではないのだとしたら

私は憎しみという感情を知らないことになります

もしもこの目頭を熱くする感情が

悲しみではないのだとしたら

私は悲しみという感情を知らないことになります

ふとした瞬間に思い知らされる

負の感情 甘い想い

私はどうすればいいんですか

私はなにをすればいいんですか

あなたの目には

私が写っていないということぐらいわかっています

それでも

私を写してほしいと願ってしまふ

そんな自分を叱咤しながら

私はあなたを目に焼き付ける

気付いて

気付かないで

張り裂けそうな相反する想いに悩まされながら

私は今日もあなたを目で追っているだけ

通じることのないこの思いは

いつかは消えてくれるでしょうか？

あなたに気づいてほしいとは願わない

私はただ

あなたに幸せがおとずれればいいと思うだけ

その気持ちも

果たして贖物ですか？

問いかけても

返ってくる声はない

それがまた悲しくて

私にはお似合いのように思う

掴もうと伸ばした手には
空を切る感覚しかない

大丈夫

きつといつか

忘れることができるはず

だから

それまでは

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2265d/>

片思い

2010年11月8日15時40分発行